



▲優秀板金製品技能フェアで受賞
「水の漏れない折りたたみカップ」

自動車や医療機器、コネクタなど精密部品の試作・部品加工を行う(株)西野精器製作所。1968年の創業以来、精密試作部品のメーカーとして、産業界の発展に寄与し、2021年に現工場へ新築移転したばかり。

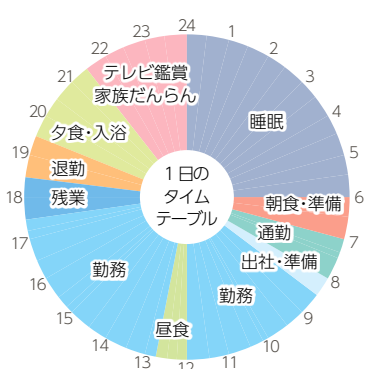
1社で板金・プレス加工・機械加工にも対応する総合力が強みで、金属をゴマ粒サイズからバスケットボールサイズのものまで加工することが可能です。品評会や展示会にも積極的に参加し、国内外の製造業における板金加工技術・技能の向上と交流を図ることを目的に開催される「優秀板金製品技能フェア」では、毎年さまざまな賞を受賞しています。

「プレスなどの金属加工技術は日進月歩です。常に技術動向をチェックしながら、最新鋭の設備を積極的に導入し、常に新しい技術の習得に励んでいます」と話すのは、西野信弘代表取締役。「精密部品加工のプロフェッショナルとして、お客様の製品開発技術開発に貢献し、これからもお客様の心をつかむ企業であり続けたい」と力強く話します。

入社2年目の山崎一摩さんは、営業部営業課に所属。仕事は、取引先から送られてくるメールチェックから始まり、見積もりから現場への製品の製作手配、梱包、納品までの全工程を専任で担当します。

「お客様から『ありがとう』と直接感謝の気持ち伝えてもらえた時が嬉しくて、やりがいにつながっています」と語る山崎さん。「覚えることはたくさんありますが、毎回自分の成長を実感できて楽しいです」と笑顔で話していました。

多彩な技術を持つ総合試作工場



休日は、地元の体育館などを借りて、小学校から始めたバスケをしています。ポジションはどこでもこなすオールラウンダー。学生時代の友人と思いっきり汗を流してリフレッシュします。今は新しいチームを立ち上げようか検討中です。

市内のおすすめスポットは「キッチン モアナイナ」。高校生の時に初めて行き、ローストビーフ丼がおいしくてハマりました。ぜひ、食べに行ってみてください。



▲ローストビーフ丼

キッチン モアナイナ
勝田中央1-1 ㊟定休



営業部 営業課
山崎一摩さん(21)
日立市在住、出身
大原簿記情報公務員専門学校水戸校卒業、
令和3年入社

働く暮らし

ひたちなかを

好きになる

Vol.19

日本の産業を支える市内中小企業でいきいきと働く人たちを紹介합니다。

NISINDO

取材協力企業
(株)西野精器製作所

新光町 552-84
☎ 265-9595

代表者：代表取締役 西野 信弘
創業年：1968年10月(昭和43年)
資本金：1,000万円
売上高：10億3,000万円(令和4年8月期)
従業員数(男/女)：78人(64人/14人)
平均年齢：38.3歳
月平均残業時間：約20.0時間
R4年採用：新卒7人
勤務時間：8:30～17:30
有給休暇の平均取得日数：6日/年
育児休業取得：男0人、女0人(R1～3年度)